

芋掘りをしました



10月21日(木)下崎山、小林勝宣さんの畑の芋を掘らせていただきました♪雨が降ったりやんだり安定していない日が続いていましたが、なんとか予定通り芋掘りをすることができました。学校帰りの児童クラブの子ども達でコンテナ2個分も収穫させてもらいました！雨で少し土は柔らかくなっていましたが、みんな楽しそうに夢中になって掘っていましたよ(笑)1人3個までと決めていましたが、それ以上の収穫となりました。初めて体験する子、経験のある子、といろんな子ども達がいましたが良い経験になりました。掘った芋は、11月に開催した『植樹記念祭』で焼き芋にして、みんなで食べました(*^^*)

『植樹記念祭』については、次号で詳しくお知らせします。お楽しみに！

畑と芋を提供してくださった小林さん、ありがとうございました



Instagramで

まち協をフォローしよう！



崎山地区人口統計表 (令和3年10月31日 現在)

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	10区	11区
男	74	74	48	55	58	55	73	96	97	40	42
女	88	85	63	74	67	68	79	109	96	53	51
合計	162	159	111	129	125	123	152	205	193	93	93

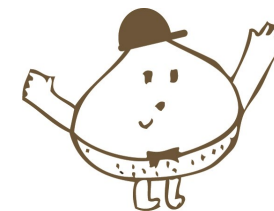
崎山地区全体 男 712名 女 833名 計 1,545名 (先月比+5名)

崎山地区まちづくり協議会 事務局 集落支援員 奥野

五島市役所 崎山出張所内 TEL 0959-73-6389

崎山地区まちづくり協議会

まち協通信 第19号



メッセージカードも書きました♪



一人一人と話しました♪



笑顔で受け取っていただきました♪

ランタン届けてきました(*'ω'*)

モヤゴツ畑で収穫したカボチャで、ハロウィンのランタンを崎山児童クラブの子ども達と一緒に作りました。そのランタンを10月21日(木)“せいゆう荘”のおじいちゃん・おばあちゃんに、ハロウィンの雰囲気を味わってもらおうと届けてきました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、子ども達が直接渡せませんでしたが皆さん「可愛くできてるね♪」と何回も言って喜んでくださいました。

10月23日(土)には、低学年の子ども達と高学年のお姉ちゃんが代表して“みはらし荘”さんへ訪問しました。みはらし荘さんはデイサービスということもあり、今回の訪問が実現することができました！自分たちのひ孫ぐらいの子ども達の訪問に、「可愛いね！よく来たね！」「だれの子どもかな？」と会話もはずんでとても嬉しそうでした。一緒にランタンにライトを付けて、「きれいだね♪上手に作ったね♪」と喜んでいただきました(≧▽≦)滞在時間は少しでしたが、楽しい時間が過ごせて良かったです。最後には“102歳”のおばあちゃんからお礼の言葉をいただき、児童クラブに帰った子ども達は園長先生に自慢していたそうですよ(笑)

ご協力いただいた、“せいゆう荘”様“みはらし荘”様ありがとうございました。

令和3年12月1日 発行

鬼岳火山群の溶岩台地（ジオ）に生きる
“さっきゃまびと”

Vol.4
2021.12.1 発行
発行責任者
崎山地区まちづくり協議会
代表 古里 幸一
090-2393-1990

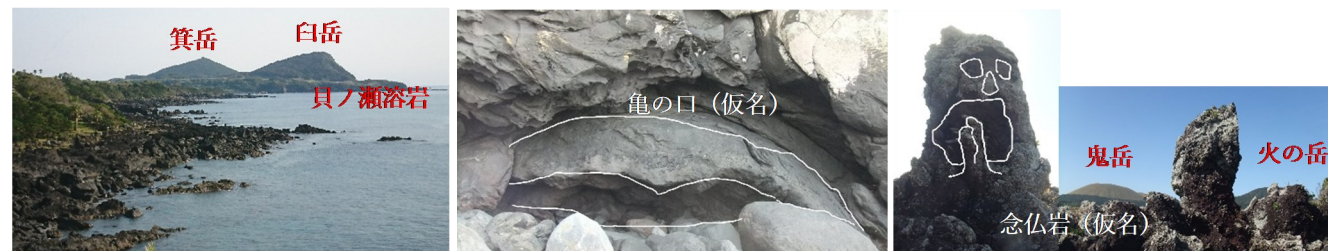
・ ・ ・ 白岳と貝ノ瀬溶岩 ・ ・ ・

町内会総出の運動会。小学生から敬老者まで年代を揃えての町内会対抗リレー。色とりどりの町内会旗を振りながらの大合戦。母がご馳走を前夜から作り、重箱につめて登ってきた箕岳の運動会。鍛瀬展望台からの箕岳・白岳の眺めは、子供時代が脳裡によみがえる私の大好きな景色の一つである。

ジオを意識し始め、俄かにこの溶岩台地が気になり始めました。箕岳・白岳火山と貝ノ瀬溶岩。

箕岳・白岳火山は15～2万年前に噴火した単成火山であり、白岳西側の海食崖下部に露出する溶岩流が貝ノ瀬溶岩である。約7メートル以上の暗灰色玄武岩質溶岩と資料にはあるが、地質学に縁のない私にとって岩の区別ができるはずもない。ただ、想像するのは自由である。先日大潮の干潮時間帯に貝ノ瀬の慰霊碑前から海岸を散策したところ、きっとこれが貝ノ瀬溶岩に違いないと素人判断したのです。勝手に名付けたのですが、貝ノ瀬の亀の口（三か所）、泣き顔で合掌しながら崎山の里を見つめる念仏岩。こんな形に見えるのは私だけでしょうか。これらが貝ノ瀬溶岩であって欲しいと思いながら、この溶岩海岸の悲痛な歴史を思い出さずにはいられませんでした。

【五島列島福江島、鬼岳火山群の噴火史 長岡信治 古山勝彦】



・ ・ ・ 貝ノ瀬の慰霊碑 ・ ・ ・

全世界を震撼させているコロナ感染（2021.11.9 NHK まとめ：日本全国感染者 1,724,172 人・死亡者 18,315 人）。明治 5 年(1872)長崎県が発足、崎山村が南部・北部と別れ各戸長が置かれていた時代で明治 22 年(1889)南松浦郡崎山村となる 3 年前の明治 19 年(1886)に、日本全国で感染者 154,328 人・死亡者

109,758 人と 10 万人以上の犠牲者がでたコレラ（虎列刺）病〔コロリ〕が大流行した。当時、長崎県でも感染者 2,388 人・死亡者 1,562 人の犠牲者が出ており、崎山村でも約 300 人の感染者、約 100 人の死亡者が出たと伝えられている。犠牲者は里の共同墓地には埋葬されず、村の若衆が戸板にこの貝ノ瀬海岸先に運び埋葬した。中には戸板の上で両手を合わせ運ぶことを止めてくれるよう無言の願を立てた者もいたという。息ある犠牲者はこの貝ノ瀬の浜を最後に眺め何を思ったであろうか。思うと悲しくなる。

この郷里の歴史を知ってるからだろうか。貝ノ瀬溶岩の奇岩が「合掌して「南無阿弥陀仏」と唱えている」ように見えてくるのである。【明治19年各地方虎列剌病日計表 内務省衛生局】【崎山・黄島民話 貝ノ瀬崎悲歌】

.....

岐山地区まちづくり協議会・岐山鏡瀬自然を守る会は五島列島ジオパーク構想の推進に取り組んでいます。



塩津港入口の横の道をずっと入って行くと、道沿いに誘導案内標識があります。貝の瀬の碑まで300mとなっていますが、途中車を止めるスペースがあるので、そこで車を降ります。約3分ほど歩くと碑が見えてきます。

～ 奉 文 ～

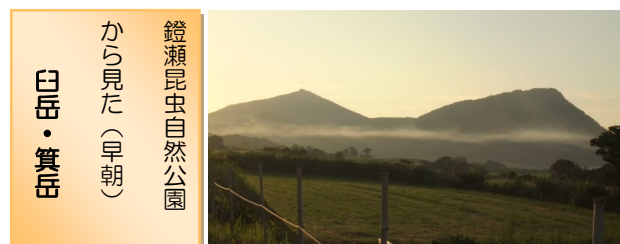
「明治一九年（一八八六）、日本列島全土に襲いかゝった虎烈羅病は、遠く五島灘を渡り五島列島福江村に上陸、猛威を振いつゝ遂に郷土崎山村に波及する。元来、獐猛なるコレラ病は、恰も遼原の火の如く止まる処なく、間髪を入れず崎山村全域に蔓延したのである。当時、全国的に未だ医療及び衛生に関する施設、知識は殆ど皆無に近く、官憲を初め村役人一同、只周章狼狽し拱手傍觀する他になかったと言う。斯かる中に在って、罹災者は、日毎にその数を増し、遂にはその犠牲となり、尊き一命をも亡うとなう悲しい一大事変と発展したのである。今日は三人、明日は五人、時として十人程にも達したと言う。而して是等の犠牲者は、若い衆と呼ぶ村の奉仕グループの手を借り、雨戸板に乗せ官憲指示のまゝ、遠く村里離れの当地海岸に、犬猫の死骸同様に埋葬されたのである。中には意識もあり息絶え絶えにして両手を合わせ、遂行の阻止を嘆願する者もあったとか。悼しい哉！此の惨事、只筆舌に苦しむのみ。斯くして、此の年の九月、秋風も吹き初める頃迄に犠牲者の数は、故〇〇〇、全畑中犬之助を含む凡そ百人と言われ、崎山村有史以来の大惨劇に終わった。然も斯くの如き一大事変も悪疫と云う名の下に、世に伝聞される事もなく、遠く百有余年の歴史の彼方に消え失せようとしている。茲に於いて、此の地を貝の瀬霊地と呼称し、此処に御鎮まります御霊を弔敬し、崎山町の平和的繁栄、更に悪疫再現の防止、進んでは、当海岸沖を航行する船

平成元年八月吉日

南風さわぐ貝ノ瀬鼻の白波に
散りて失せにし御魂悼まん

慈海

※削られて書いている所は〇、？は多分そうだろう
うと思つて書いています。



～五島ジオパーク構想とは～

ジオパークとは、「地球・大地(ジオ：Geo)」と「公園(パーク：Park)」を組み合わせる「大地の公園」という意味です。ジオパークでは、見どころとなる場所を「ジオサイト」に指定し、多くの人が将来にわたって地域の魅力を知り、利用できるように保護を行います。その上で、ジオサイトを教育やジオツアーなどの持続可能な方法で経済活動に活かし、地域を元気にする活動や、そこに住む人たちに地域の素晴らしさを知ってもらう活動を行う取り組みです。



五島列島ジオパーク構想